

やさしい福祉のまちづくり賞 受賞事例集

・ダイジェスト版・



2009-2012



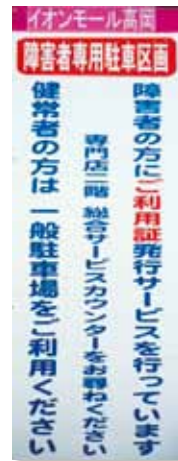
第11回受賞事例集 (2009年)

● その他(施設等)の部門 ●

大賞



障害者専用駐車区画の標識・表示



利用証発行案内看板

● 障害者専用駐車区画 ご利用システム イオンモール高岡(高岡市)

イオンモール高岡では、身体に障害をお持ちのお客様が優先的に駐車できる障害者専用駐車区画(以下「専用区画」という)を36区画有しています。

このご利用システムを構築するまでは専用区画に無断で停める健常者のお客様とのトラブルが絶えることがありませんでした。

不正利用だと判断して声かけを行うと「妊娠3ヶ月です。なぜ注意するの」「普通に歩いているけれど怪我をしているんだよ」「俺はお客だ、少しの時間停めても文句を言うな」等、妊娠や怪我といった事実を正すことのできない反論を受けることがありました。

一方、障害者のお客様からは「健常者が利用するため我々が利用できない。何とかしろ」との要求がありました。

店舗としての対応に苦慮していた時、胸を痛めた2つの事例に遭遇しました。

● 実 例

① 専用区画に停めた車の中からドンドンと窓ガラスを叩いているご年配のお客様がられました。当店の係員が近づくと、「真横に車を停められてしまったため、ドアが開かず降りられないんだよ」との叫び声をあげておられました。このご年配のお客様が車を降りる準備をしていたところ、突然、約30cm横に車を停めて店内に入ってしまった人がいたためドアを開けることができず降りることができない状態になっておられました。

② 専用区画の前で、目に涙をしておられる車椅子に乗った男性のお客様がられました。当店の係員が事情を伺うと、「自分の車の横に停められた車のためにドアが開けられない。自分の車に乗りたくないんだよ。バカにして…」と訴えられました。当店でショッピングを終えて車に戻ると約40cm横に車が停まっていたためでした。

このような事例に大きな衝撃を受け、検討した結果「反論を受けても思いやりに満ちた社会を創るため」に組織としてひたむきに取り組もう!「お客様から相当の反発が予想され、営業に支障が出るかもしれないが、ルールを訴えることは企業責任だ」という社内からの声もあり、マナー向上を訴える施策に組織として取り組むこととしました。

その施策として、専用駐車区画を利用できるご利用証の発行、拡声機(おつたえさん)によるご利用案内、ビラ配布による利用案内、利用説明看板の設置を行いました。また、店内放送にて専用区画の利用説明を毎日3回以上放送しています。

さらに、専用区画の前道路に重ねて障害者マークを表示しました。その結果、健常者のマナー違反が激減するという効果を得ることができました。



道路上に描いた障害者マーク



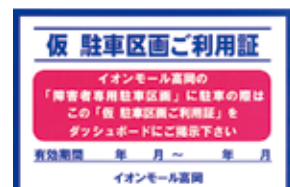
拡声機(おつたえさん)付案内標識



利用対象者の案内表示



身体障害者手帳所持者に交付するご利用証



一時的な利用者に交付するご利用証



健常者のマナー違反が激減している様子



お客さま・身体障害者に対するお願いビラ



第13回受賞事例集 (2011年)

● 活動や取り組み部門 ●

賞



● 地域のボランティア活動

野ぎくの会 (小矢部市)

明るく住みよい社会と明るく豊かにそして健やかに暮らせる地域づくりを目指して、平成4年9月に地域のボランティア活動を開始しました。

知的障害者共同作業所の地域行事への参加促進の手助けをし、融和に寄与したり、子育て支援センターでの子どもや若い世代とのふれあい活動を大切にしたい三世代交流行事を企画実施しています。また、高齢者の生きがい作りの場となるようサロン活動にも積極的に取り組む等、幅広く活動をしています。

賞



● 移動販売支援事業

白萩南部地区社会福祉協議会 (上市町)

交通の便が悪く、買い物に困っている限界集落に住む住民の生活を支援する取り組みとして移動販売支援事業を開始しました。

地区社協の役員等が住民の方の注文のとりまとめなどを行っています。

買い物が気軽にできるようになり、また、地域での声かけや困っている人の相談にのる等、お互いを助けあうようになり、地域定着の推進・住民交流の活性化にも結びついています。



第14回受賞事例集 (2012年)

● 活動や取り組み部門 ●



● 障がいのある方も踊りの輪の中に いなみ太子伝観光祭実行委員会(南砺市)

いなみ太子伝観光祭は、昭和35年から「井波音頭」で町流しが始まり、昭和52年には「太子伝木彫り音頭」が生まれました。平成18年から更に多くの人々に参加を呼び掛ける中で、障がいのある方も気軽に参加できるように、福祉ボランティアの協力でお揃いの浴衣をリフォーム(2部式)し、着付け、化粧をするなど、参加しやすい環境づくりを整えました。町流しの他に、「交通広場」での輪踊りも実施し、今では、毎年10名程の車椅子を利用した方が参加してお祭りを盛り上げています。



● 地域とのつながり、社会とのつながり 特定非営利活動法人ワークホーム悠々(射水市)

平成12年から主に精神に障がいのある方が自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう活動を始めました。

社会とつながれることを目標に各種交流事業に参加したり、毎月定例の街頭清掃を行うなど地域に積極的に出かけルールを学び社会参加の機会としています。なじみのお店、なじみの顔に囲まれて地域で生活し、自分たちの居場所を自分たちで作っていくために周囲の人たちと協力し、共生社会の実現に向けて今後も活動を広げていきたいです。

● その他(施設等)の部門 ●



● 安心な全館バリアフリー構造 セレモニーホール上市(上市町)

上市町の景観を考慮し、建物は近代的なデザインになっています。専用会場等は、ゆったりと過ごせるような空間とし通路も広さを十分にとり全館バリアフリー構造です。下足場には、スロープ台、ベンチを設置し、障がいのある方や高齢者にも使いやすいように配慮しています。また、オストメイト対応トイレや視覚障害者誘導用ブロックを設置するなど、誰もが安心してご利用頂けることができるようになっています。



● わが家にいるような雰囲気 特別養護老人ホーム有磯苑新館(朝日町)

有磯苑新館はユニットケア棟であり、各ユニットのリビングから外に出られる中庭があり広く開放的な空間になっています。各居室は自分の部屋がすぐ認識できるよう扉の色や模様を工夫してあります。施設内の手すりは、掴まる高さではなく体を支える高さに、便器も自立を目的とした高さにするなどの設備設置をしています。

また、多目的ホールは、施設職員だけでなく地域の方々も利用できるように配慮してあります。

この事業に関するお問い合わせは



富山県民福祉推進会議

事務局 社会福祉法人富山県社会福祉協議会

〒930-0094 富山市安住町5番21号 富山県総合福祉会館3階 TEL (076) 432-2960 FAX (076) 432-6124